

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア矢作

目標達成計画

作成日: 令和 3年 9月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練に参加している職員に偏りがある、防災機器の取り扱いもしたことが無い職員がいる、等の問題点が見えてきた	全職員が防災訓練を経験して、災害時の対応や防災機器の取り扱いに慣れる	1. 「災害時マニュアル」の内容の周知 2. 定期的に防災訓練を施設独自で行う 3. 訓練では全員各防災機器に触れる	12ヶ月
2	35	避難場所の確認はしたが、地域との連携が出来ていない	災害時に地域の方に協力を仰げる体制を作る	1. 地域の避難訓練への参加 2. 地域の方に矢作の情報を発信する	12ヶ月
3	19	ご家族様へ伝わる情報が少ない手紙や面会以外でご家族様にホームの様子を伝える事が出来ていない	発信する情報量を増やす 手に入れられる手段も増やす	1. 毎月送っている封書の内容の充実化 2. 封書以外にも情報提供する方法を検討する	12ヶ月
4	33	看取りの向き合い方、知識についての勉強が引き続き必要。今年、1Fで看取り支援を行ったのでケアに当たった職員との意識の共有を行いたい	適切なケアが出来るよう知識を付ける ご利用者様、ご家族様だけでなく、職員自身のケアも行えるようになる	1. 看取りについての勉強会を行う 2. ケアをしたことがある職員と話す機会を作る	12ヶ月
5	29	コロナ禍になって以来、外部とほとんど接点を持つことが出来ないでいる。このような状況下での地域資源の活用の仕方を検討する	ホーム内の事をして頂く機会を増やす	1. やはぎかん、りぶら等の施設に「あじさい便り」等の情報を掲示させて頂く	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。